

# SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 令和 2年 1月 21日

事業所・団体としての2030年の（または中長期的な）あるべき姿		
持続可能な開発目標（SDGs）の視点を持ち、知・徳・体のバランスのとれた力を身につけた子～共に高め合う喜びを実感できる子～を育てる。		
事業所・団体としてのねらい、特徴的な活動		
「めあてに向かって一杯取り組み、仲間と共に高め合う子」を重点目標にかかげ、山間部小規模校の良さを生かし、地域と共にある学校づくりを推進している。		
各目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	来年度の取組目標
	児童が、生きていくために必要な知識及び技能の基礎を習得できるよう、基礎学力の充実を図り、主体的・対話的で深い学びのための授業改善に取り組んだ。	児童が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能の基礎を習得できるようにする。 そのために ・基礎学力の確実な定着を図る。朝の学習時間を利用し繰り返し練習を行い、確かめテスト（チャレンジテスト）実施期間を年3回設定する。 ・授業実践における研修テーマを「考えを深め合う場の設定」とし、年3回研究授業を行い、子ども同士で伝え合い、深め合う子の育成を目指す。
	命と人権の大切さを学ばせ、自分の命は自分で守るための基礎を身につけさせた。	安全かつ強靱（レジリエント）な町および人間居住を実現するために、防災・安全教育を充実させ、自分の命は自分で守る意識や態度を育てる。 そのために、 ・年6回避難訓練を実施し、自分の命は自分で守るための基礎的な力を身につけさせる。 ・小中一貫グループで連携し、生活科・総合的な学習（しずおか学）において「防災」について学ぶ機会を、年6時間設定する。
	縦割り活動を取り入れた特別活動の中で、自分で判断し行動する姿勢や協力する態度を育てた。	グローバル・パートナーシップの基本となる、思いやりや協力の大切さ、自分で判断して行動できる力、世界の人々とつながろうとする意欲を育む。 そのために、 ・委員会活動や宿泊活動において、1～6年の縦割りでグループ編成する。 イングリッシュデーを年12回設定し、積極的に英語に触れ、使う機会を増やす。

（記載上の注意）

- 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 目標はなるべく定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。

事業所・団体名称	静岡市立清水宍原小学校 (本社が届け出る場合はその事業所の数 )	
業種	14. その他	
代表者 職・氏名	職名	校長
	氏名	外山 聡子
所在地	〒424-0301 静岡市清水区宍原919番地	
URL	<a href="http://www.shishihara-e.shizuoka.ednet.jp/">http://www.shishihara-e.shizuoka.ednet.jp/</a>	
従業員（構成員）数	男性	14 人
	女性	13 人
	計	27 人